

## 女性消防団員紹介



大阪狭山市消防団 岡本 裕紀子

2012年から地元・大阪狭山市を拠点に防災アドバイザーの仕事をしています。

防災対策の大切さをひとりでも多くの方に知って頂くことが大切だと痛感していました。そのような中、大阪狭山市消防団に女性分団が創設されると伺い、2013年に入団させて頂きました。

また、私が生まれた時にはすでに父が消防団に所属しており、消防団は大変身近な存在でした。そのような環境で育ったことも入団の大きな決め手になりました。

春・秋の火災予防運動では、地元のスーパーで啓発品を配布しながら火の用心を呼びかけています。また、AEDの使用方法を広める活動にも励んでいます。AEDのデモ機を使った体験コーナーの設置、出初式やさやま池まつりなど、市内で開催される催しの際には「おおさか救命体操」にも取り組んでいます。

消防団活動の中で、平成29年度大阪府消防協会南河内地区支部総合訓練に規律訓練の選手として参加させて頂いたことが特に印象的です。直前の約1か月間は消防本部職員様のご指導のもと、週3~4回の練習に男性団員とともに励みました。練習を重ねるごとにひとつになる心はまさに“ONE TEAM”！本番では30人で「1つの音を作る（訓練礼式十則）」ことができたと思います。消防団ならではの連帯感・達成感・使命感を肌で感じる事ができた貴重な経験となりました。

仕事柄（本業は防災アドバイザー）、日々、身近な防災対策のアイデアを探し、講演会や著書などを通じて「岡本流防災対策」として発信しています。防災食の調理・試食体験や災害時における日用品の意外な活用方法、身近なものでできる応急手当等、受講者参加型講演会をさせて頂く機会もあり、たびたび新聞などのメディアで取り上げて頂いております。



消防関係では、大阪府消防協会南河内地区支部消防団員防災研修会や全国各地の防火協会・防災協会・女性防火クラブ等で講演させて頂いています。

日々の地道な活動の積み重ねこそが、防火・防災意識の高い社会への一番の近道です。大阪狭山市消防本部の署訓のひとつでもある「着眼大局 着手小局」の精神をしつかりと心に刻み、女性ならではの視点を活かしながら地域の防火・防災力向上の要としての役割を果たしていくことができると考えています。